



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話(098)869-8711

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2025年12月分）

◎ 県内景況は、拡大基調にある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回

る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を上回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン・セメント出荷量はともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、ビジネスホテル、シティホテルは前年同月を上回る。

リゾートホテルは前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を上

回り、宿泊収入(推計値)は前年同月を上回る。

☆ 企業倒産：倒産件数・負債総額はともに前年同月を下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：上門、小嶺、永田 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファックス：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2025 年 12 月分)



概況：県内景況は、拡大基調にある。

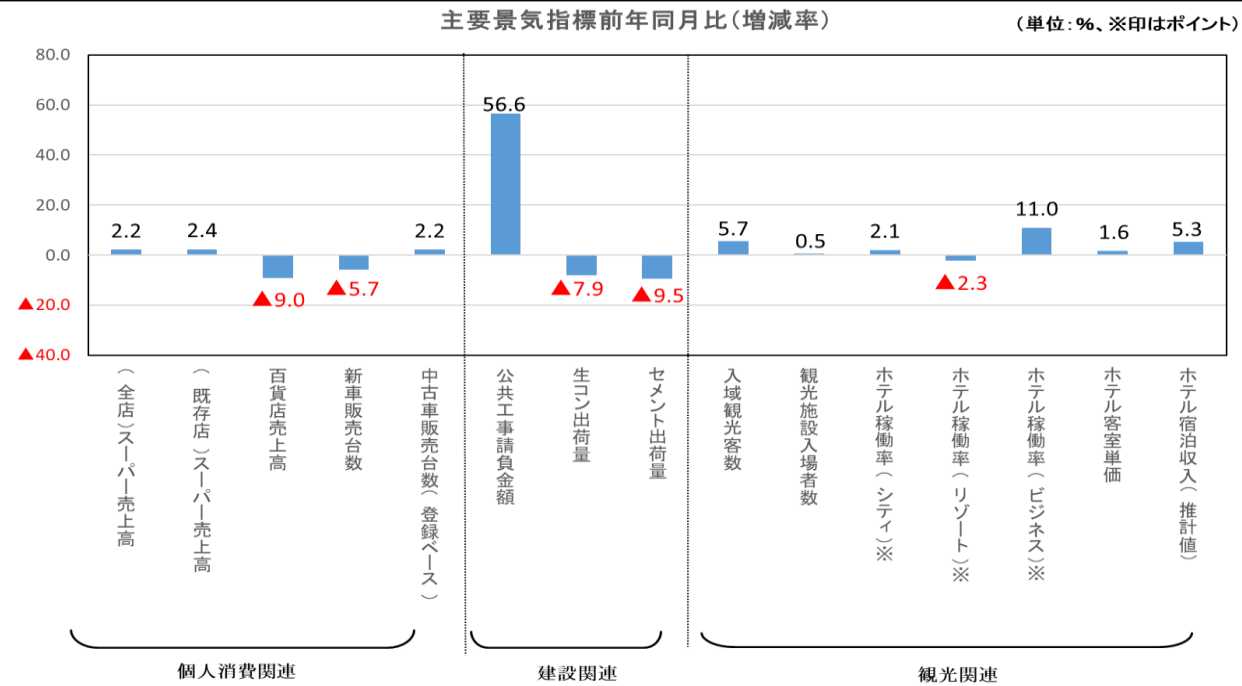
12月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である新車販売台数は前年同月を下回り、中古車販売台数は前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン・セメント出荷量は、ともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率は、ビジネスホテル、シティホテルは前年同月を上回り、リゾートホテルは前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、拡大基調を維持しているものの、一部に停滞感がみられます。建設は、弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから、拡大基調にあります。よって、「県内景況は、拡大基調にある」と景気判断を据え置きました。

(2024 年 10 月の上方修正から 15 か月連続で判断維持)





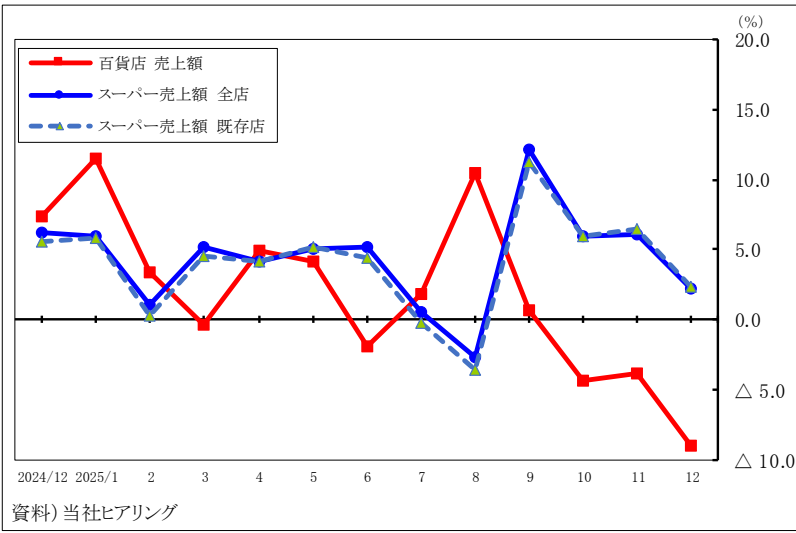
■個人消費：（やや良い）

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

単位：％

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2024/12	6.2	5.6	7.4
2025/1	6.0	5.8	11.5
2	1.1	0.3	3.4
3	5.2	4.6	△ 0.3
4	4.2	4.2	4.9
5	5.1	5.2	4.1
6	5.2	4.4	△ 1.9
7	0.6	△ 0.2	1.8
8	△ 2.7	△ 3.6	10.5
9	12.1	11.3	0.7
10	6.0	5.9	△ 4.3
11	6.1	6.5	△ 3.9
12	2.2	2.4	△ 9.0

注)前年同月比

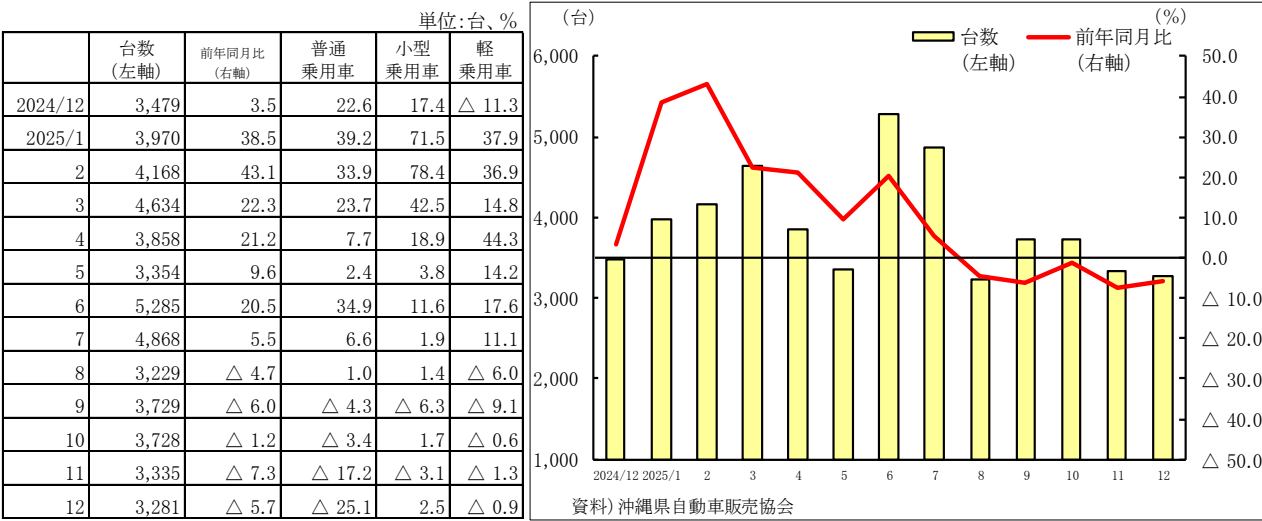


12月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比2.2%増)」は、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同3.2%増)」は、お歳暮ギフト商品の売り上げ伸長などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同0.1%増)」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同1.8%減)」は、前年同月を下回りました。

「既存店ベース(同2.4%増)」は、4ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同3.3%増)」は、お歳暮ギフト商品の売り上げ伸長などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同0.3%増)」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同0.7%減)」は、前年同月を下回りました。

百貨店売上高(同9.0%減)は、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同2.7%減)」は、お歳暮ギフト商品の売上低迷などにより、前年同月を下回りました。「衣料品(同11.1%減)」は、気温が高く推移したことなどにより冬物衣料の販売が伸び悩み、前年同月を下回りました。「雑貨(同15.5%減)」、「身の回り品(同8.6%減)」は、中国からの渡航自粛要請の影響による免税売り上げの減少などにより、前年同月を下回りました。「家庭用品(同30.3%減)」は、前年実施した催事企画実績の反動減などにより前年同月を下回りました。

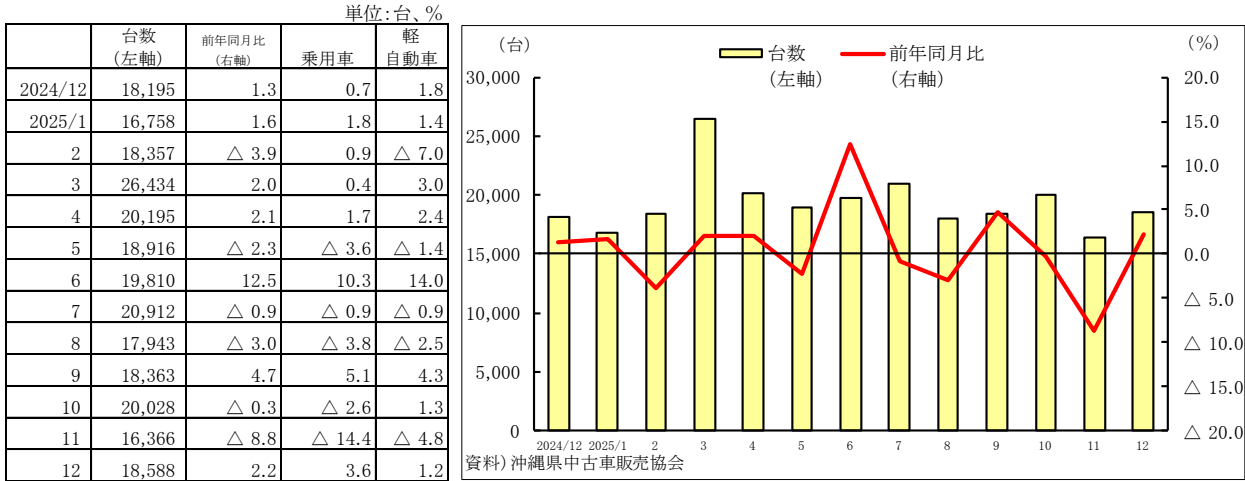
② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。



注) 前年同月比
 注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,281台(同5.7%減)となり、5ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同25.1%減)」、「軽乗用車(同0.9%減)」は、ともに前年同月を下回りました。「小型乗用車(同2.5%増)」は、前年同月を上回りました。

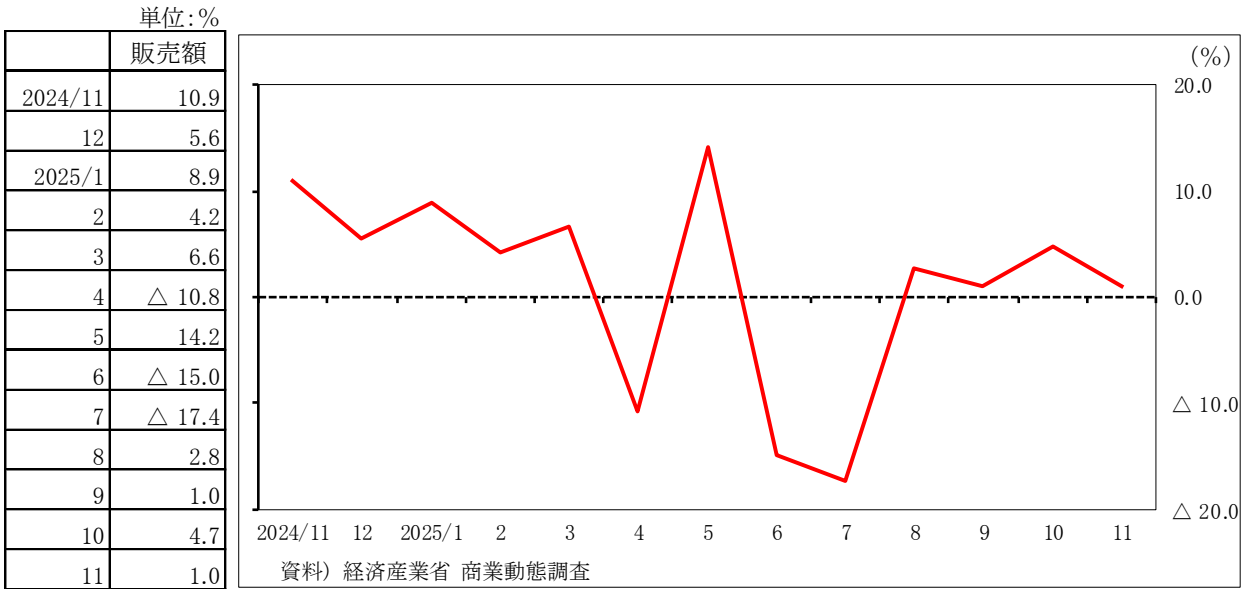
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。



注) 前年同月比
 注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で18,588台(同2.2%増)となり、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車(同3.6%増)」、「軽自動車(同1.2%増)」は、ともに前年同月を上回りました。

④ 【参考：11月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

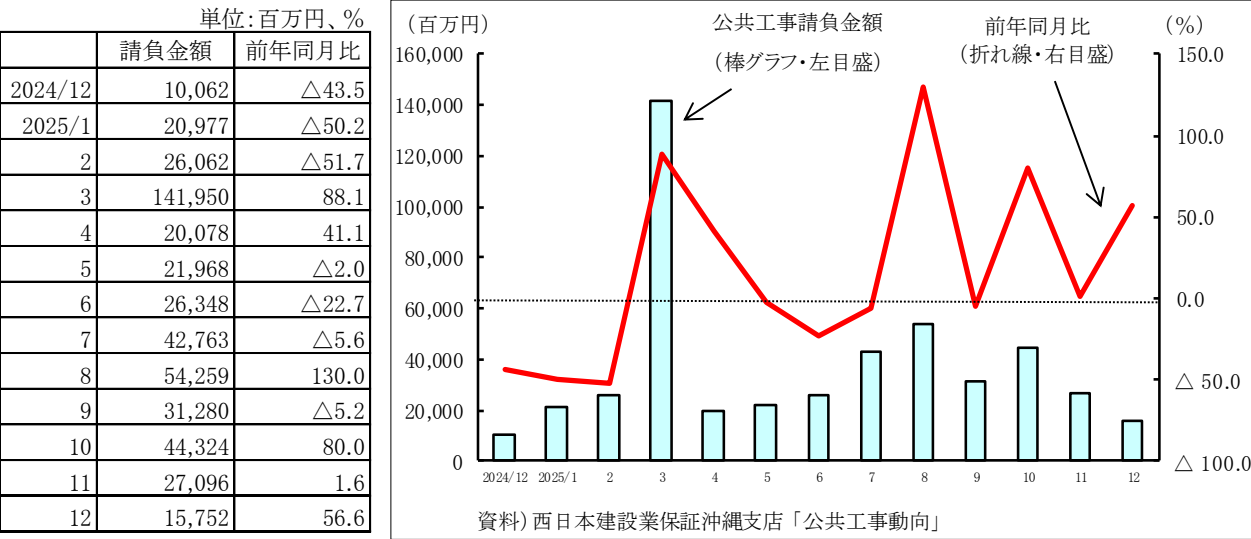


注) 前年同月比
大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

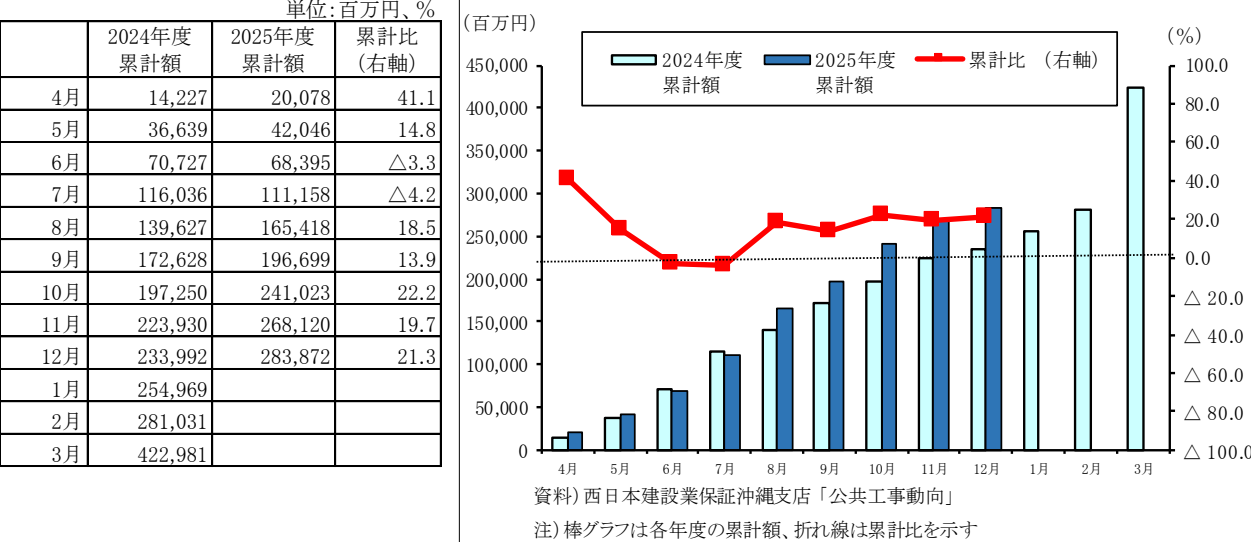


■建設関連：（ふつう）

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を上回る。



② 【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を上回る。

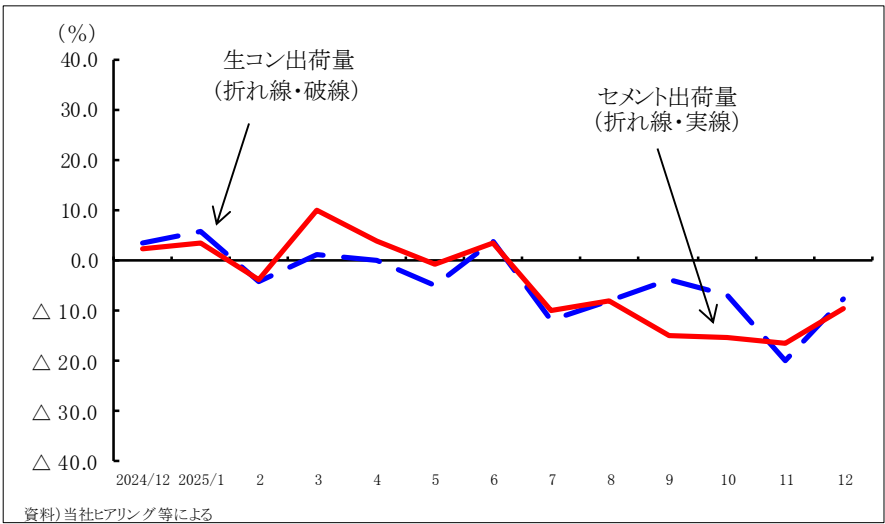


12月の公共工事請負金額は、前年同月比 56.6%増の 157 億 5,200 万円となりました。

発注者別でみると、「国(同 227.0%増)」、「沖縄県(同 20.5%増)」、「市町村(同 18.4%増)」と前年同月を上回りました。一方で「その他の公共的団体(同 51.3%減)」、「独立行政法人等(同 76.1%減)」は前年同月を下回りました。

③ 建設資材・・・生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)		
	生コン	セメント
2024/12	3.4	2.3
2025/1	5.7	3.6
2	△ 4.3	△ 3.8
3	1.3	10.0
4	△ 0.1	4.0
5	△ 5.1	△ 0.7
6	3.7	3.5
7	△ 11.8	△ 10.2
8	△ 8.2	△ 8.3
9	△ 3.7	△ 15.0
10	△ 7.1	△ 15.5
11	△ 20.0	△ 16.6
12	△ 7.9	△ 9.5

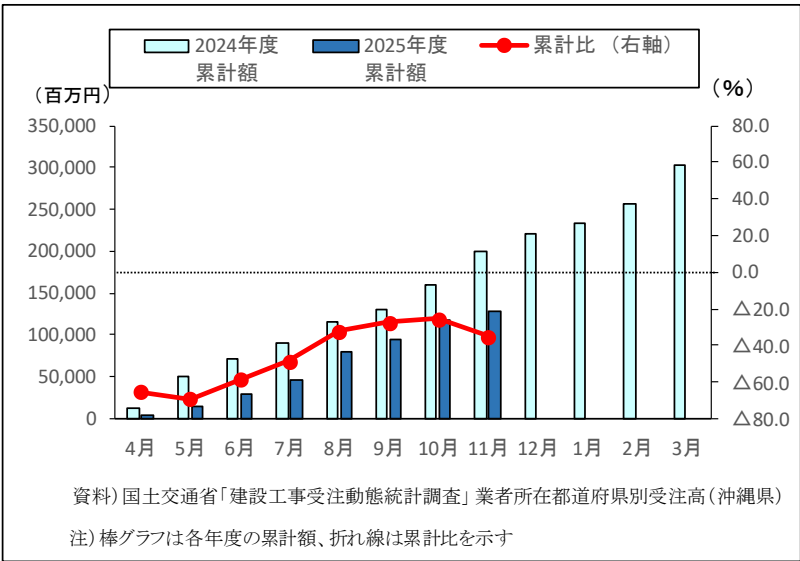


(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は、前年同月比 7.9%減となりました。内訳をみると、民間工事向け(同 3.1%増)は、北部地区、石垣地区は増加しましたが、中南部地区、宮古島地区において出荷が減少しました。公共工事向け(同 27.6%減)は、北部地区、中南部地区、石垣地区、宮古島地区の全ての地域で出荷が減少しました。**セメント**の出荷量は 9.5%減と前年同月を下回りました。

④ 【参考】民間等元請受注高（年度累計）…前年同期を下回る。

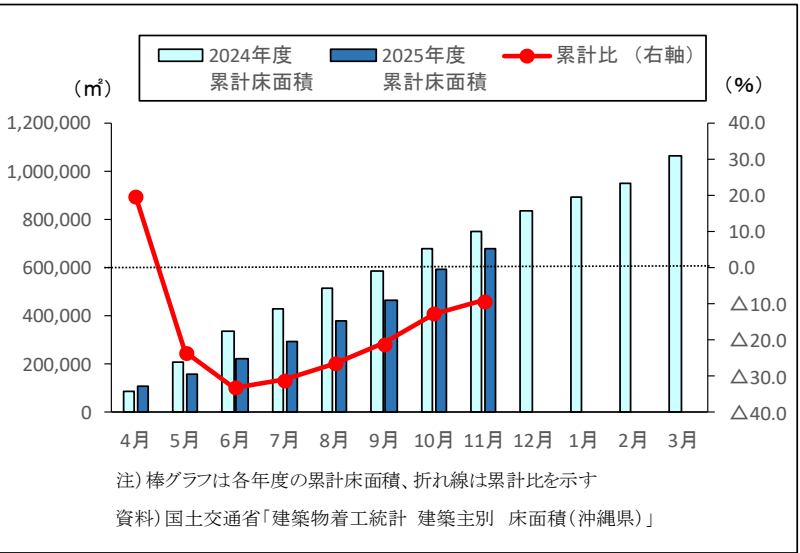
	2024年度 累計額	2025年度 累計額	累計比 (右軸)
4月	12,551	4,331	△65.5
5月	51,037	15,660	△69.3
6月	71,203	29,638	△58.4
7月	90,334	46,399	△48.6
8月	116,251	79,037	△32.0
9月	131,202	95,615	△27.1
10月	159,386	118,855	△25.4
11月	199,171	129,152	△35.2
12月	221,493		
1月	233,879		
2月	257,161		
3月	303,874		



2025 年度累計値では、35.2%減となっています。

⑤ 【参考】民間着工建築物床面積（年度累計）…民間（会社＋個人）着工建築物の
 累計床面積は前年同期を下回る

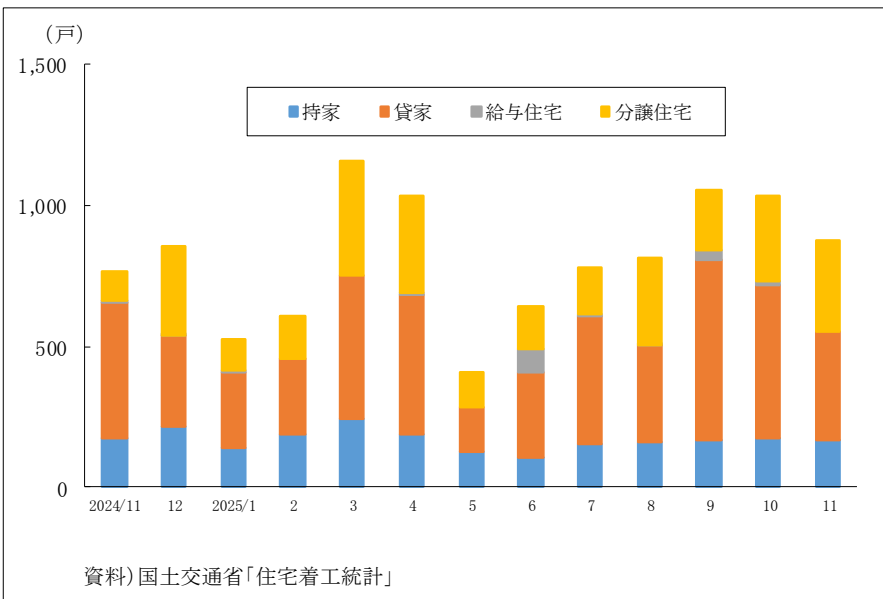
	2024年度 累計床面積	2025年度 累計床面積	累計比 (右軸)
4月	87,961	105,450	19.9
5月	207,647	159,324	△23.3
6月	336,880	225,447	△33.1
7月	428,079	295,438	△31.0
8月	519,324	381,778	△26.5
9月	590,901	466,907	△21.0
10月	679,457	594,404	△12.5
11月	750,197	682,315	△9.0
12月	841,062		
1月	896,395		
2月	952,835		
3月	1,069,736		



2025 年度累計値では、9.0%減となっています。

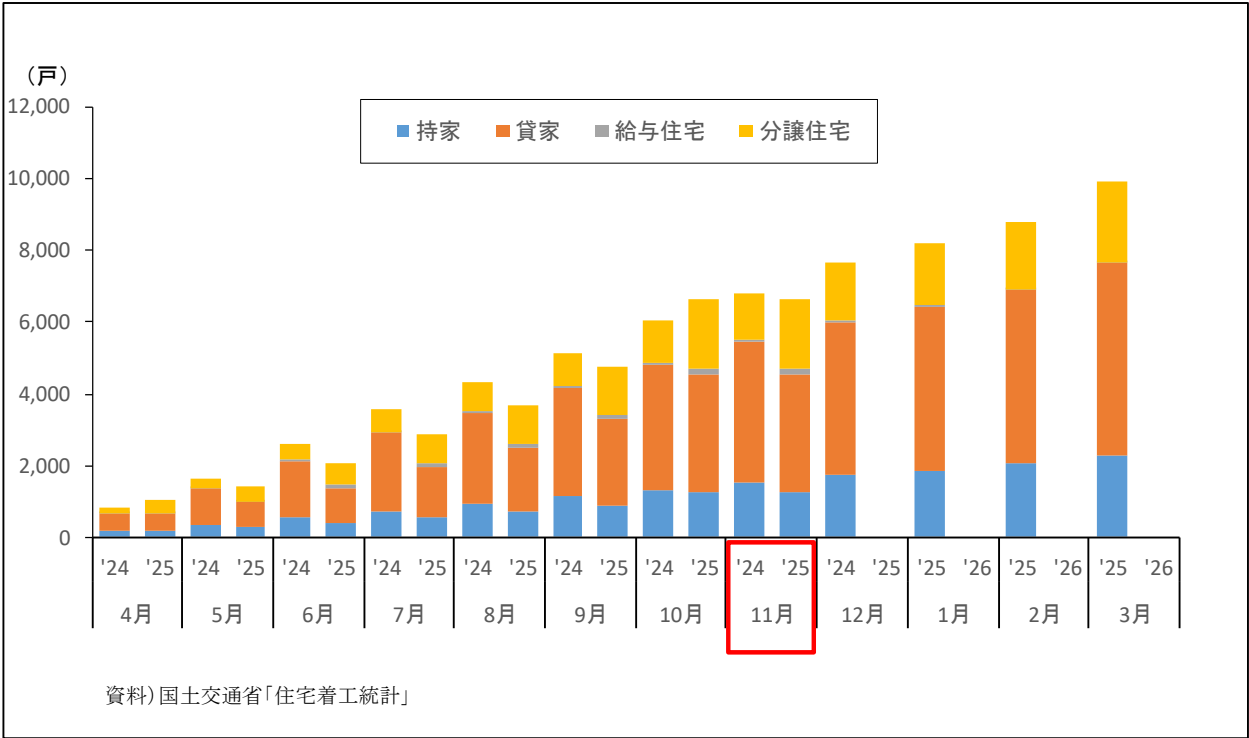
⑥ 住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。

	着工戸数	単位:戸、%	前年同月比
2024/11	766		△2.0
12	858		△22.1
2025/1	522		△32.0
2	605		△5.5
3	1,155		81.0
4	1,034		21.4
5	406		△49.5
6	644		△33.1
7	781		△18.2
8	816		9.7
9	1,055		30.2
10	1,035		14.2
11	875		14.2



11月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比14.2%増の875戸となり、前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同206.6%増)」となりました。一方で「貸家(同20.0%減)」、「持家(同5.7%減)」は前年同月を下回りました。

⑦ 【参考】住宅投資(年度累計)・・・着工戸数は前年同期を下回る。

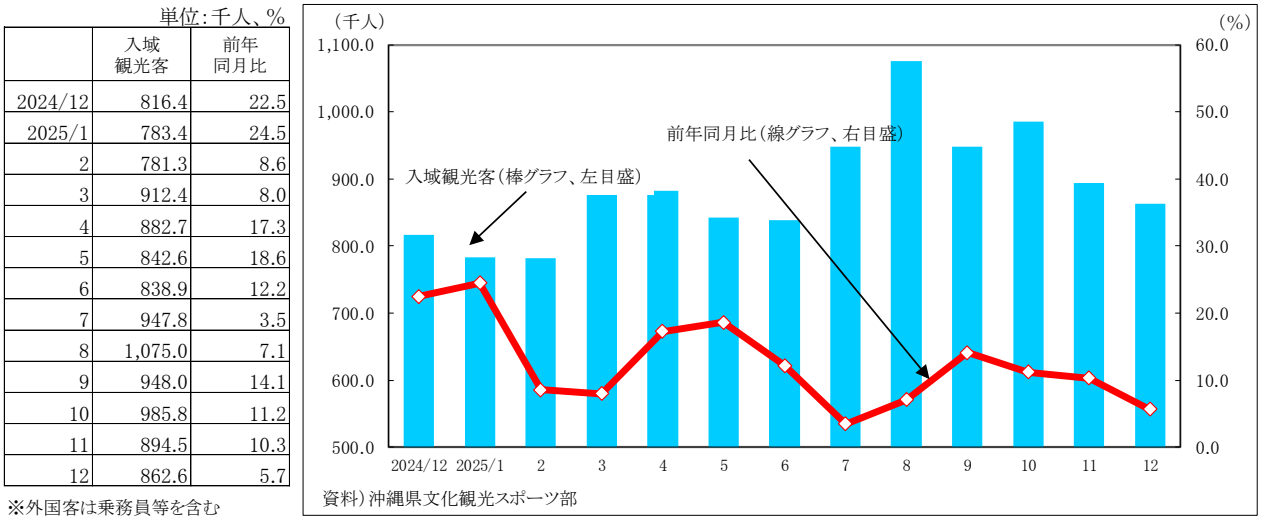


2025年度累計値では、前年比2.3%減となっています。

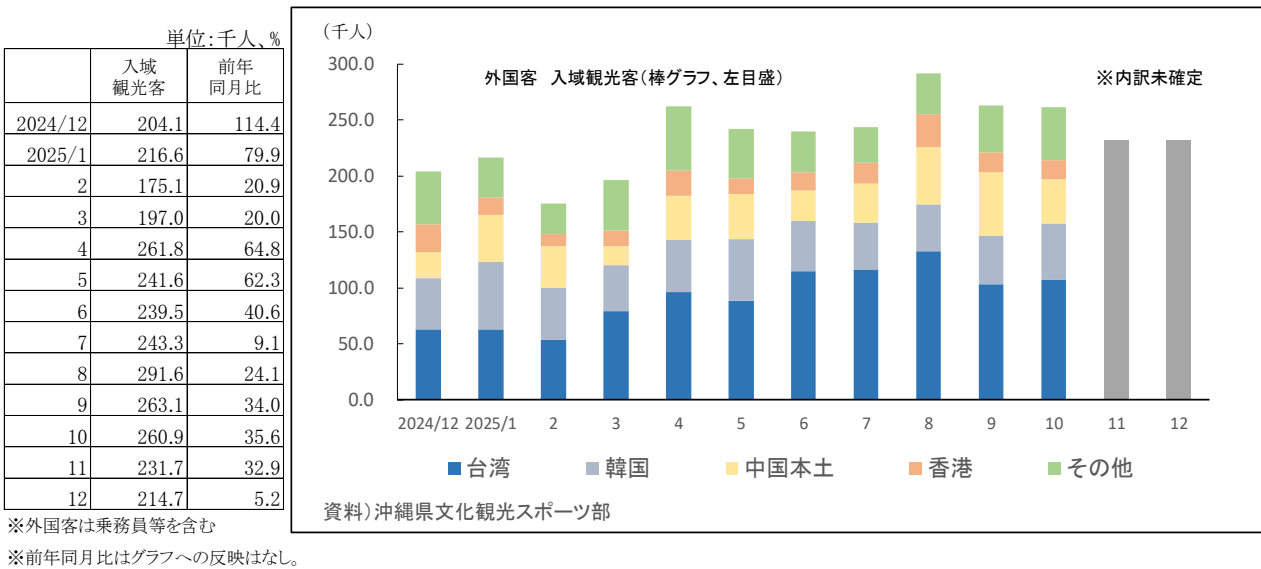


■観光関連： (やや良い)

① 入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。



外国客入域観光客数・・・前年同月を上回る。



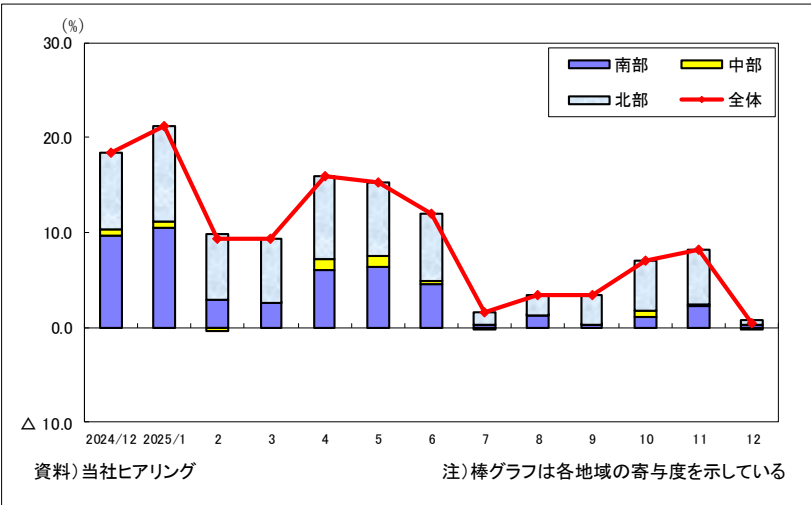
12月の入域観光客数は航空会社による年末年始の増便・臨時便等の影響により862,600人(前年同月比5.7%増)となり、49ヵ月連続で前年同月を上回りました。12月としては過去最高の入域数となりました。暦年でも過去最高の入域数となりました。

外国人観光客は214,700人(同5.2%増)となり前年同月を上回りました。内訳は、空路162,800人(同24.4%増)、海路51,900人(同29.1%減)となりました。

② 観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

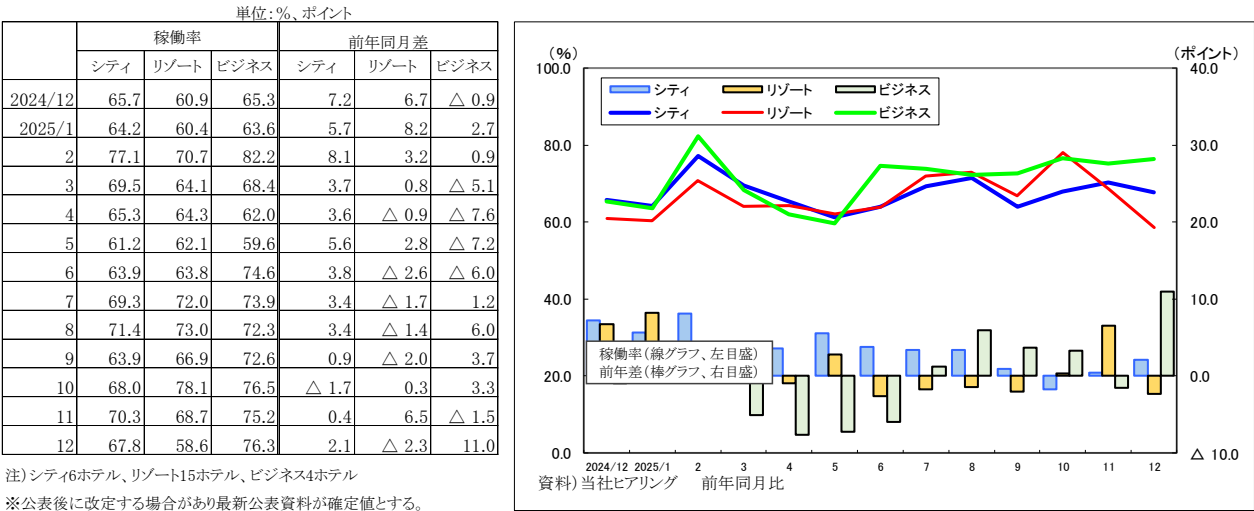
	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2024/12	18.5	23.3	6.4	17.0
2025/1	21.2	28.1	4.7	19.9
2	9.4	7.2	△ 4.8	13.9
3	9.4	6.3	1.6	13.2
4	15.9	15.1	14.5	16.6
5	15.2	18.1	12.7	15.7
6	12.0	10.8	5.0	14.0
7	1.6	0.6	△ 0.1	2.4
8	3.3	3.2	0.2	3.8
9	3.4	0.6	0.1	5.7
10	7.0	3.0	6.9	9.9
11	8.2	5.2	1.2	12.3
12	0.5	0.6	△ 3.0	1.1

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



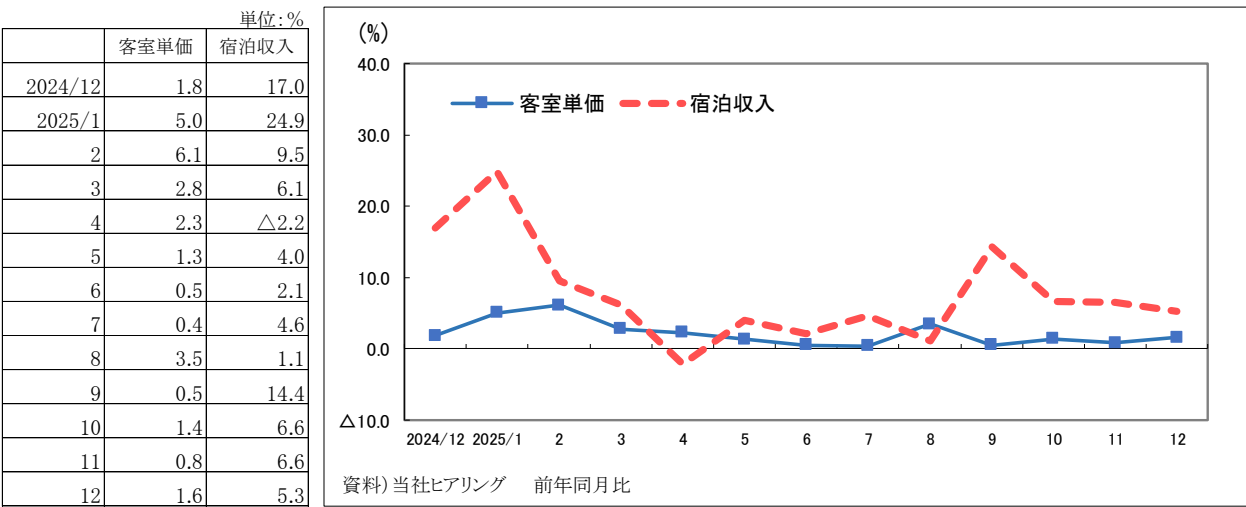
12月の観光施設入場者数は、全体では 0.5%増となり 45 ヶ月連続で前年同月を上回りました。地域別でみると、北部の観光施設は 1.1%増、南部は 0.6%増、中部は 3.0%減となりました。

③ ホテル稼働率・・・ビジネスホテル、シティホテルは前年同月を上回る。リゾートホテルは前年同月を下回る。



県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 2.1 ポイント増加、リゾートホテルは 2.3 ポイント減少、ビジネスホテルは 11.0 ポイント増加しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。



※対象施設数:21施設(シティ6、リゾート15)、ビジネスは除く
※客室単価は21施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

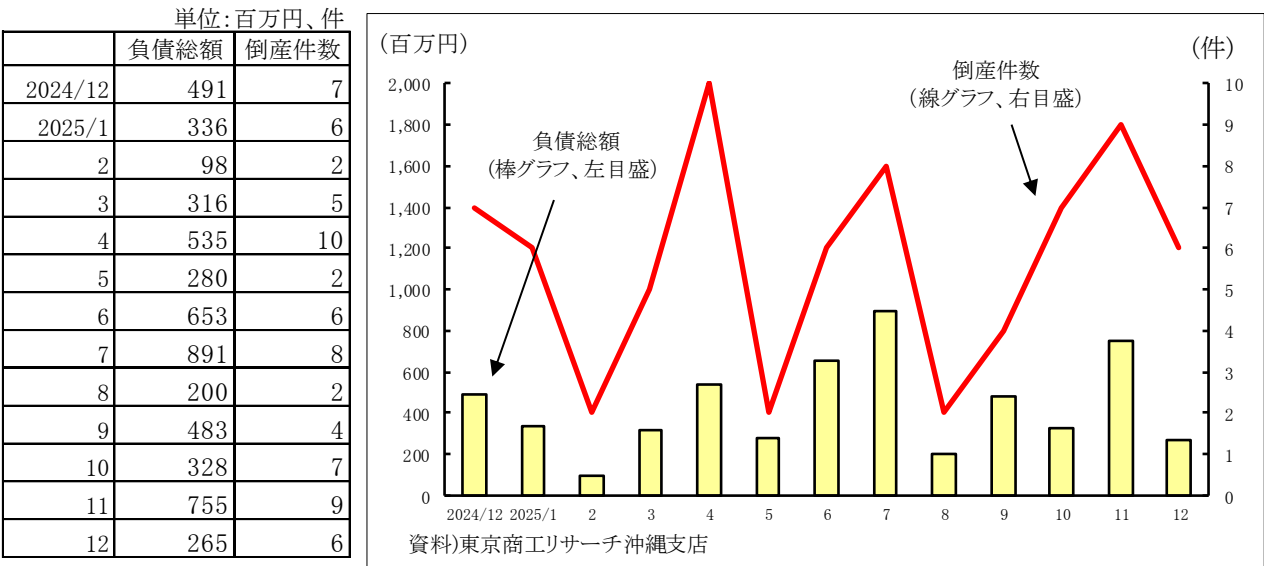
ホテル客室単価(シティ&リゾート)は 1.6%増と 20 ヲ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は 5.3%増と8ヶ月連続で前年同月を上回りました。

■企業倒産：



(ふつう)

① 企業倒産・・・件数・負債総額ともに前年同月を下回る。



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

12月の企業倒産件数は6件(うち1億円以上10億円未満の大口倒産1件)となり、前年同月より14.3%下回りました。

負債総額は2億6,500万円となり、前年同月より46.0%下回りました。

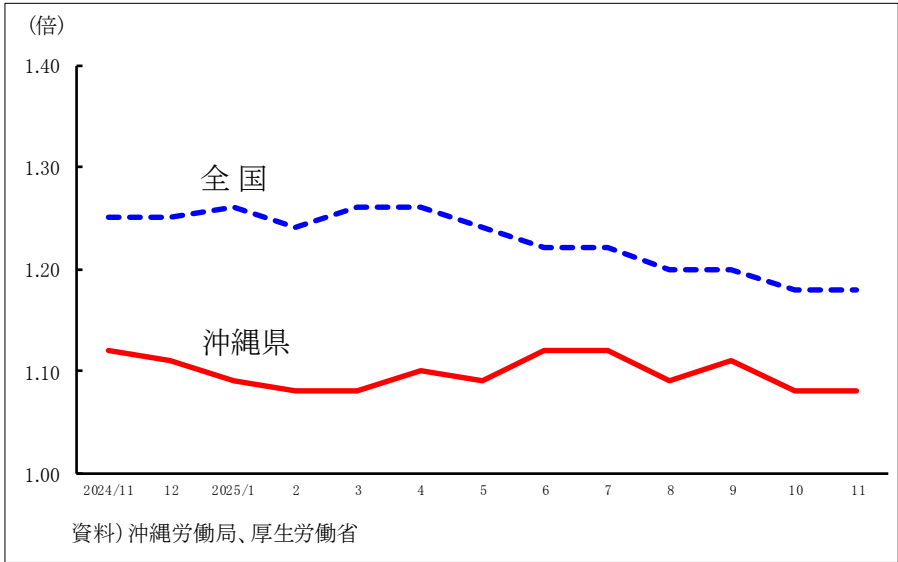


■雇用関連： (やや良い)

① 有効求人倍率・・・沖縄・全国ともに前月と同水準。

単位:倍

	沖縄県	全 国
2024/11	1.12	1.25
12	1.11	1.25
2025/1	1.09	1.26
2	1.08	1.24
3	1.08	1.26
4	1.10	1.26
5	1.09	1.24
6	1.12	1.22
7	1.12	1.22
8	1.09	1.20
9	1.11	1.20
10	1.08	1.18
11	1.08	1.18



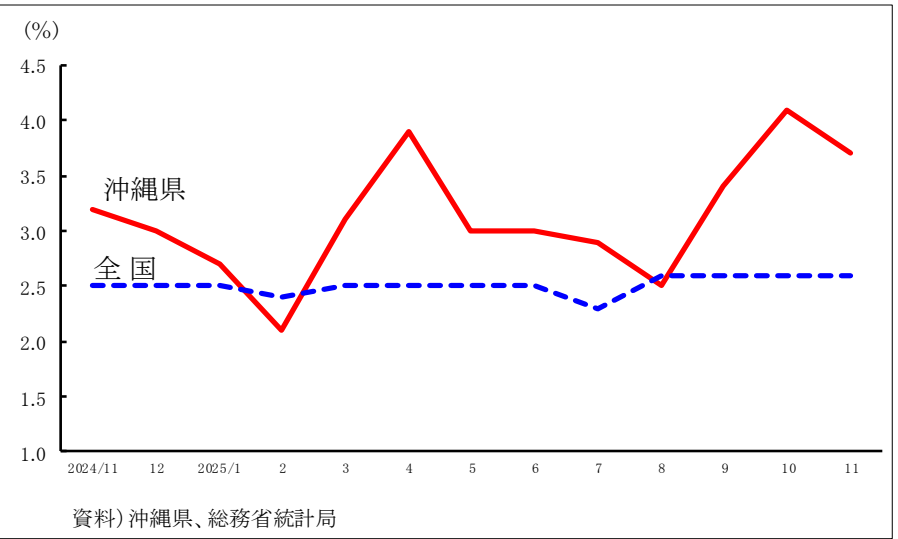
注) 季節調整済
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

11月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比0.9%減の29,421人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.1%減の27,277人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.08倍と、前月と同水準となりました。

② 完全失業率・・・沖縄は前月より低下し、全国は前月と同水準

単位: %

	沖縄県	全 国
2024/11	3.2	2.5
12	3.0	2.5
2025/1	2.7	2.5
2	2.1	2.4
3	3.1	2.5
4	3.9	2.5
5	3.0	2.5
6	3.0	2.5
7	2.9	2.3
8	2.5	2.6
9	3.4	2.6
10	4.1	2.6
11	3.7	2.6



注) 季節調整済

11月の完全失業率(季節調整値)は、3.7%となり前月より0.4ポイント低下しました。